研究テーマ：クライアントに対するIPv6およびIPv4の提供形態に関する研究（1/2）

（プロジェクト番号　JGN2-A17019）

研究機関：　慶應義塾インフォメーションテクノロジーセンター
慶應義塾大学鶴岡先端研究教育連携スクエア

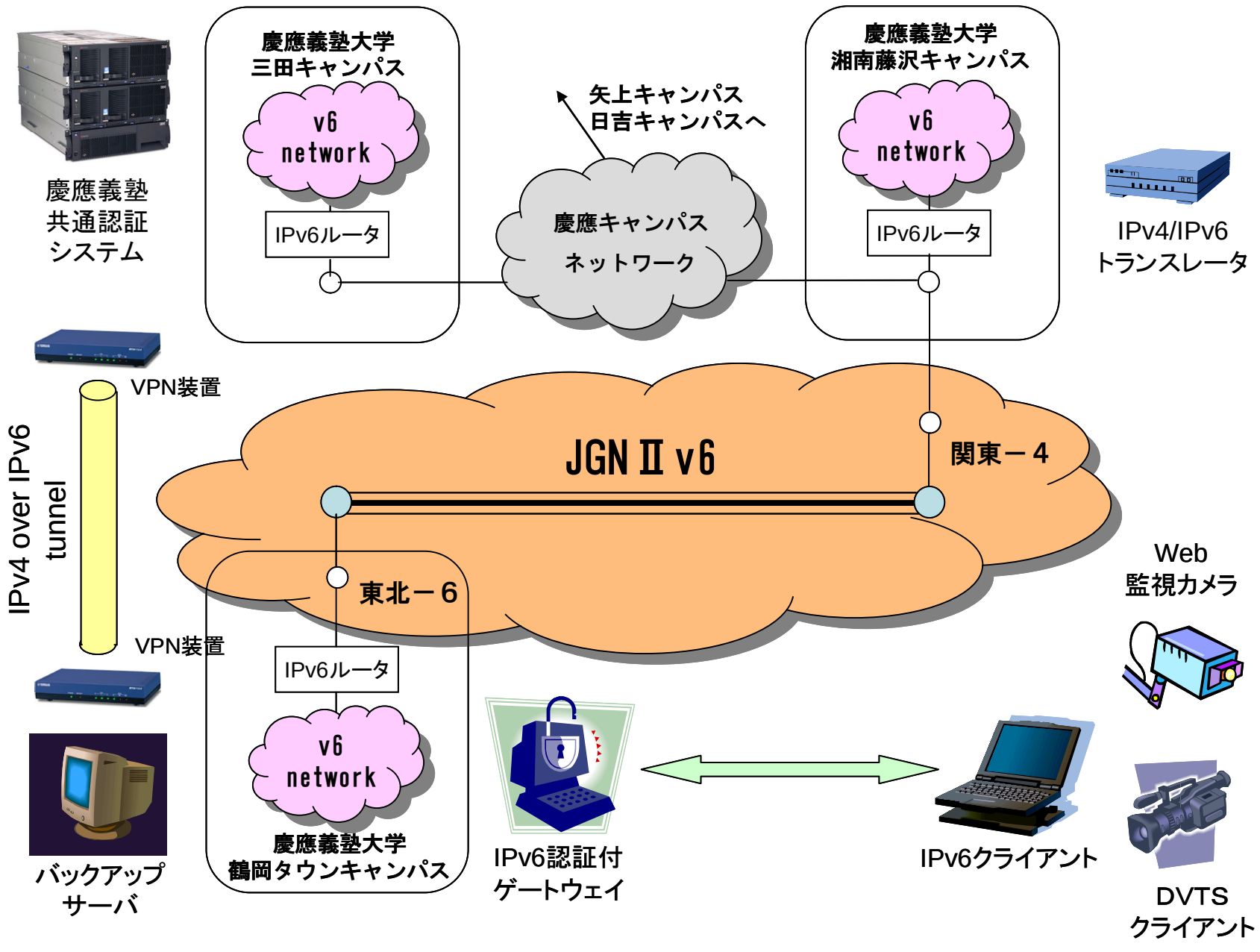
研究の概要：

大規模かつ広帯域な通信環境が実現できるJGN Ⅱを利用して、IPv4からIPv6環境へ、クライアントの円滑な移行を行うための実証実験を行う。情報コンセント、無線LANなどにおける認証技術の開発や、IPv4環境において利用されてきた様々なアプリケーションのIPv6化を進める。また、遠隔管理技術についても、開発・実験を行う。

研究の目的：

IPv4からIPv6環境へのクライアント移行のための実証実験を行う。ネイティブなIPv6バックボーンの運用やセキュリティ、IPv6クライアント環境の整備、デュアルスタック環境における情報コンセントや無線LAN認証技術の開発を目指す。また、ネットワーク機器、サーバ機器について、IPv6を利用した遠隔管理技術の開発や実験を行う。

実験機器構成：



研究テーマ：クライアントに対するIPv6およびIPv4の提供形態に関する研究（2/2）

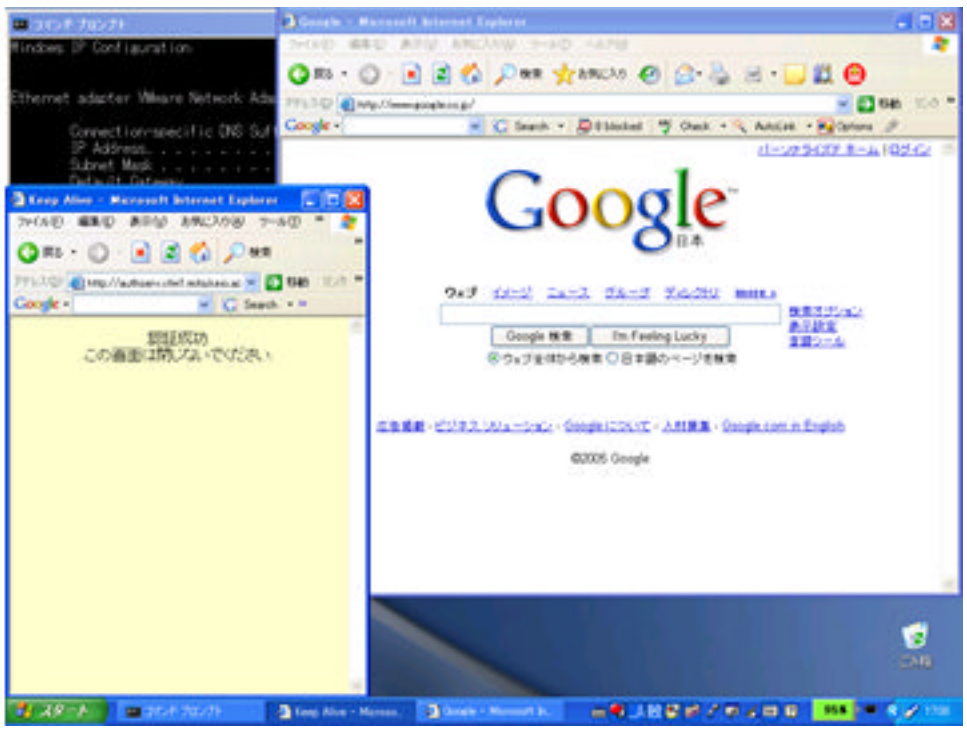
（プロジェクト番号　JGN2-A17019）

研究機関：　慶應義塾インフォメーションテクノロジーセンター
慶應義塾大学鶴岡先端研究教育連携スクエア

研究開発状況：

認証前：　ブラウザを開くと認証画面へ

この状態では全ての通信ができない。



認証後：　各アプリケーションが通信可能な状態に

平成17年7月のJGN2v6開通以来、IPv6バックボーンネットワークの構築、認証付ゲートウェイの開発を中心に研究・開発を行っている。慶應義塾共通認証システムを利用することにより、離れたキャンパスでも同一IDでのログインが可能となる。認証アプリケーションのプロトタイプは完成し、現在、IPv6対応化を行っている。

また、IPv6クライアント環境の整備、IPv4 over IPv6 VPN環境の整備、DVTSやH.323を用いた遠隔講義環境の整備等も行っている。

今後の予定：

本プロジェクトは平成17年度で研究を終了しています。